

災害・断水・停電・トイレ！

健康といのちに直結する災害時の トイレ事情を考える

横浜では、今後 30 年間に震度 6 以上の地震に見舞われる可能性が 81%と、地震への備えが急務となっています。災害で水や電気が止まれば通常のトイレは即座に使えなくなりますが、人は食べることを我慢できてもトイレは我慢できません。大規模マンションなら、100 戸あれば住民が 300 人、大小便 1 日 6 回分の簡易トイレを用意すると 1000 袋以上になります。

かと言って、不潔で暗い、すぐに満杯になる上に危険を感じるような仮設トイレで人は安心して排泄することはできません。健康といのちに直結するトイレ事情は待ったなしなのです！1000 袋以上の簡易トイレを備蓄するか、はたまた設備としてのトイレを見直すか・・・

今回は、マンション管理組合の立場から見た「トイレ問題」を考えます。



【日 時】 7 月 12 日(水) 18:15～20:45 (受付開始 17:45)

【会 場】 かながわ労働プラザ 3階

【主 催】 NPO 法人 かながわマンション管理組合ネットワーク

NPO 法人 横浜マンション管理組合ネットワーク

【資料代】 県下 管理組合ネット会員無料、非会員 1,000 円

プログラム

【講演 1】

横浜市の下水道について

講師：横浜市環境創造局 下水道管路部管路保全課

高橋 浩二、三縄 教明

【講演 2】

災害時のトイレは命に関わる！

～防災から見たトイレ環境を考える～

講師：NPO法人 日本トイレ研究所 代表理事 加藤 篤

【講演 3】

災害目線の大規模修繕～トイレの配管、壊れませんか

講師：NPO法人 浜管ネット 技術者部会 町田 信男



※お問合せは、浜管ネット事務局へ ☎045-911-6541

お名前 (人数分お書きください)			
管理組合名又は所属名	住 所		
(連絡先) 電 話	メールアドレス		